

原木しいたけの安定した生産のために

(盛岡地方しいたけ原木需給懇談会の開催)

盛岡地方振興局管内では原木しいたけの生産が活発で、生しいたけを中心に首都圏での販売が好調に推移しています。しかし近年、原木の生産を担う素材生産者の高齢化やしいたけ原木に適する広葉樹林が奥地化していることなどから、原木を購入してしいたけを栽培している生産者が、原木の入手に苦勞する状況が顕著になってきました。この問題の解決策を探るため、去る10月1日に、盛岡地方しいたけ原木需給懇談会を開催して、しいたけ原木の安定的な需給について、需要者側と供給者側が話し合いました。



懇談会の出席者は、管内の農協、乾しいたけ・生しいたけ生産者と森林組合の素材生産担当者で、しいたけ原木の需要状況と生産状況を各出席者が報告した後、これからの供給拡大策を協議しました。

供給側からは、ほだ木に対するクレームや返品が大きな障害であることが話題提供され、傷や皮剥げなどの品質の他、納品時期や期間、単価などの需給両者の協議により、歩み寄れる事項がかなりあることを確認しました。

今後は、製品を見ての話し合いにより、原木の供給拡大につなげることをとしています。

